



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	一九八四（昭和五十九）年度行事報告
Citation	基督教学, 20, 38-38
Issue Date	1985-07-15
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/46441
Type	other
File Information	20_38.pdf



一九八四（昭和五十九）年度行事報告

○研究発表会

- 一、ピコ・デッラ・ミランドラにおける自由意志の問題
北海道大学大学院 伊藤 博明
- 二、義認と聖化―ユリウス・シュニウイントに学ぶ―
白樺養護学校 和田 博文
- 三、キエルケゴールにおける悔恨の概念
酪農学園大学 渡部 光男
- 四、ドストエフスキーにおけるハケノースの意義について
北星学園女子短期大学 三枝 礼三
- 五、ある教育者の思想と足跡―小谷部全一郎について―
旭川豊岡教会 福島 恒雄

○公開講演会

都合により中止となる。

執筆者紹介

- 高橋 弘 北星学園女子短期大学専任講師
- 伊藤 博明 北海道大学大学院博士課程
- 福島 恒雄 日本基督教団旭川豊岡教会牧師

○第二十三回大会 七月十六日 於・酪農学園大学
理事会

報告

一九八三（昭和五十八）年度行事・会計・会計監査報告を承認。
協議

一、新役員として次の各氏を選出。

〔会長〕 浅井正三

〔会計監査〕 赤城 泰

〔理事〕 井上昌保、宇野光雄、大出 哲、近野 亘、三

枝礼三、菅沼英二、土屋 博、三原武夫、山崎

忠

〔幹事〕 阿部 包、伊藤博明、宇都宮輝夫、清水哲郎

二、次期大会は藤女子大学において行ない、その時期は一九八

五（昭和六十）年七月十五日（月）を予定する。

三、公開講演会は、講師・時期等について、可能性を検討して
行くことにする。

四、『基督教教学』第二十号の編集委員として、次の各氏を選出。

宇都宮輝夫、宇野光雄、大出 哲、近野 亘、菅沼英二、土

屋 博、三原武夫